

日本での交換留学

パリシテ大学
アブデナウイ サラ

早いもので、お茶の水大学での年が終わりました。たくさんのことを学び、素敵な出会いがあり、美しいものをたくさん見ました。今年はさまざまな分野で私に多くのものをもたらしてくれました。そこで、この大学での交換留学生としての経験を共有したいと思います。

まず始めに、十月の最初の数週間は最も難しいものでした。書類作成と行政手続きはかなりのもので、新しい国に移り住み、日本語がうまく話せないということは非常にストレスがかかることです。幸いなことに、相談できるチューターが割り当てられ、寮や大学のスタッフは非常に親切で、月末にはすべての手続きを終えることができました。

そして、本当に経験を共有したいトピックの一つは、音羽間寮とお茶の水大学のキャンパスです。音羽間寮は、快適な環境と素敵な自分の部屋があります。建物は住みやすく、キッチン、会議室、映画室、畳の部屋などのコンセプトルームがあり、とても便利です。受付のスタッフも親切でサポートを感じ、キャンパスのすぐそばにあるのも非常に便利です。お茶の水大学のキャンパスは美しく、たくさんの緑があり、季節の変化を見るのが楽しいです。猫たちもいて、教室も比較的簡単に見つけることができます。

学期を合格するために、私は修士レベルのクラス（N2-N1）を選ばなければなりませんでしたので、常に簡単ではありませんでした。しかし、教授たちは非常に教育熱心であり、私は日本語で多くの進歩を遂げることができました。1年間を通じて日本語の進歩に気づき、口頭での会話や会話の理解が向上したことを嬉しく思います。また、1年間のすべての復習を経て、7月に JLPTN2の試験も受けました。「フランス語カフェ」も参加し、フランスの文化と言語を興味津々な学生たちと共有する経験は非常に豊かなものでした。毎週月曜日にミキさんとキョウカさんと一緒に過ごす時間が本当に好きでした。

大学以外では、特に植物性食品／ヴィーガンの食べ物を求める探索を通じて、東京を訪れることができました。この街が大好きで、夜でも一人で歩いても安全に感じます。東京以外では、2月に本当に充実したいくつかの旅行をしました。雪祭りを見るために北海道に行き、京都、大阪、奈良、そして最後に沖縄にも行きました。本当に楽しい休暇で、たくさんの思い出を持ち帰りました。

最後に、友達ができてとても幸せです。特に他の交換留学生たちと仲良くなれたことは、今年を世界中からの彼女たちと共有できたことを嬉しく思っています。友達ができなかったら、私の一年は全く違ったものになっているでしょう。

今年、大変お世話になった方々に感謝の意を表したいと思います。チューターのミキさんにはいつも親身になって話を聞いてくださり、心から感謝しています。担当教授の小松先生は、毎月私の振り返りシートを受け取り、私の質問に親切に答えてくださってありがとうございました。日本語の先生方の熱心なご指導と優しさに感謝します。音羽館のスタッフは、いつもサポートし、助けてくださってありがとうございました。

